

あやめが丘の窓から

「無常ということ」

校長 尾崎 健次

平成 26 年度の「あやめが丘の窓から」も、今月で最終号となります。始まりがあれば、終わりがあります。第 6 7 回生 1 3 4 名も、3 月 1 日にあやめが丘の学舎を巣立っていきました。現 2 年生、現 1 年生にも、その日が必ず訪れてきます。常に意識しておくことは、なかなか難しいことです。しかしながら、「始まれば、終わる」ということを、節目で考えておくことは大事なことです。

古文で学習する鴨長明作『方丈記』、吉田兼好作『徒然草』、そして、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者心衰の理をあらはす。奢れる者も久しからず。ただ春の夜の夢の如し。猛き人も終には滅びぬ、偏に風の前の塵に同じ。」の一節で有名な『平家物語』などの作品の中で、「無常」という言葉が持つ意味について、様々な解釈がなされてきました。国語辞典によると、その解釈は次の 2 通りに大別できるようです。

- ① この世の中の一切のものは、常に生滅・流転（しょうめつ・るてん）し、永遠に変わらないものはないということ。また、そのさま。
- ② この世のはかないこと。また、そのさま。

私は、無常という言葉、常に①の意味として、理解するようにしています。だからと言って、この世のはかなさを全否定しているわけではありません。せっかくこの世に生を受けたのであれば、はかない、つまらないという言葉を使わずに生きていきたいからです。はかない、つまらない思いながら生きる時間は、はかなく、つまらない人生になってしまうような気がします。渡辺和子さんは、『面倒だから、しょう』という本の中で、「この世に“雑用”という名の用はない。用を雑にした時に、雑用が生まれる」、と言っています。一見、雑用に思えることでも、心を込めることで、大きな価値が生まれてくるのではないのでしょうか。

どんなものでも、生まれれば、滅びていきます。どんなことでも、始まれば、終わりがやって来ます。一日一日が、一回一回が仕始めで、仕納めです。常に新しい気持ちで取り組み、これが最後だと思えることができれば、見えてくる風景も変わってきそうな気がします。とにかく、一日一日を、一つ一つのことをていねいに生きていくことが大切なのではないのでしょうか。渡辺和子さんは、同じ本の中で、次のようにも言っています。

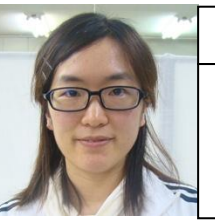
同じことは二度とない。だから、今という時を大切にす。
人生で経験する出来事はどれもがたった一度だけのこと。
どんなに望んでも、どんなに後悔しても全く同じことは起きない。
一つひとつの体験に心を込めましょう。

新しい年度を、新しい学年を、新しいクラスを、新しい人間関係を、二度とないことと考え、すべてをリセットし、しっかり受け止め、ていねいに対処していきたいものです。

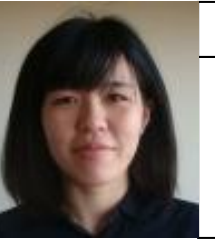
4 月 行事予定			
6(月)	合格者登校日Ⅱ	20(月)	生徒会委員任命式 PTA常任委員決定日
8(水)	始業式 新任式 大掃除 入学式 対面式	21(火)	面談週間開始(～28 日)
9(木)	スタディサポート 学年集会等 L:各種委員選出/進路希望調査	22(水)	スポーツテスト/身体測定(午前)
10(金)	45 分日課 (地区別集会) 早朝補習開始(2・3 年) 稔りの時間開始 就職公務員模試①(3 年)	23(木)	L:生徒総会議案検討 新入生アンケート
13(月)	学年集会(2・3 年) 服装頭髪指導 新入生宿泊研修(～15 日)	24(金)	歓迎遠足
16(木)	45 分日課(～28 日) 部活動集会 生活創造コース集会 早朝補習開始(1 年) L:学級独自 個人写真(1 年) PTA締切	27(月)	個人写真予備日(1 年)
17(金)	生徒会各種委員会 新入生到達度テスト	28(火)	遠足予備日
18(土)	県春季戦(バレー・バスケ)(～19 日)	30(木)	L:諸検査①限実施(1・2 年) 学級独自(3 年)

離退任者挨拶

	菰田 清 先生 →諫早高校 5 年間お世話になりました。期待と不安で複雑な心境ですが、「過去の自分の積み重ねが今の自分、今の自分の結果が未来の自分」を胸に頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございました。		林田 真那美 先生→五島高校 とうとう旅立つ日が来ました。10 代最高の思い出も 20 代最高の思い出も口加で味わいました。感謝しています。
--	---	--	---

	高比良 奈々 先生→大村高校 口加高校で過ごした貴重な時間、そしてみんなの笑顔、決して忘れません。本当にありがとうございました。		永友 純子 主事→教育庁 口加で 3 年間お世話になりました。初めて母校に勤務できたことに感謝しています。ありがとうございました。
---	---	---	--

	森山 英文 先生→島原高校 この度、島原高校に転勤になりました。1 0 年間、口加高校で大変お世話になりました。ありがとうございました。		永井 智 先生→島原ジオパーク 純朴な生徒に恵まれ、僅か 4 ヶ月でしたが充実した教員生活でした。これから島原半島ジオパークの英語ガイドで頑張ります。
---	---	---	--

	村上 嘉則 先生→教育センター ここで出会ったすべての人たちのおかげで、充実した日々を過ごすことができました。口加高生の活躍を祈っています。6 年間ありがとうございました。		山下 奈津季 先生 1 年間お世話になりました。ここで学ばせていただいたことに感謝しています。本当にありがとうございました。
---	---	---	---

自転車鍵かけ表彰



我が校が南島原警察署長様より「自転車鍵かけ表彰」を受けました。

校内スポーツ大会

3月19日（木）校内スポーツ大会が開催されました。



生徒指導部より

生徒指導部 上野 陽一

今や多くの子供たちが、スマートフォン、ゲーム機等インターネットに自由にアクセスできる環境にあり、LINE、フェイスブック、ツイッター等のコミュニティーサイトにより、大人が知らない新たな人間関係を築いています。その中で、さみしい者同士がつながって家出したり、悪意のある大人にそそのかされて、性的被害を受ける子供たちが後を絶ちません。平成26年度中の長崎県内におけるコミュニティーサイトをきっかけとした被害少年は、32人で前年に比べ、9人増加しており、そのほとんどが性的被害です。内訳を見ると、高校生約7.2%、中学生13%、女子中・高校生が被害を受けています。

また、コミュニティーサイトへの書き込みが原因でトラブルになり、いじめや不登校、暴行・傷害事件に発展するケース、ネット依存症になり昼夜逆転の生活になるケースもあり、インターネットの問題が子供たちに大きな影響力を及ぼすことが窺えます。

スマホを持つことで起こりうるトラブル、危険性について、家族でしっかり確認する必要があると思います。

進路指導部より

進路指導部 井手 克宏

本年度の補習、対外実力テスト・模擬試験、進路講演会や進路説明会などの様々な進路行事が保護者の方々のご理解とご協力によって計画通りに実施できましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、本年度の卒業生の進路実績（合格者延べ数）は3月21日現在で、次のようになっております。

国公立大学	18名	私立大学	57名	医療系専門学校	58名
専門学校	23名	短期大学	11名	公務員	2名
自衛隊	10名	一般就職(就職進学を含む)	6名		

国公立大については、広島大学、熊本大学を始め、地元長崎県立大学などの合格を果たしてくれました。私立大学については、立命館大や西南学院大学、福岡大学などの合格を勝ち取ってくれました。また、近年の特徴として、医療系専門学校希望者がかなり増えている点が挙げられます。昨年度は、卒業生(169名)に対して、医療系専門学校の受験者数が83名(49.1%)。そのうち、合格者数51名(合格率61.4%)でしたが、今年は、卒業生(134名)に対して、医療系専門学校の受験者数が64名(47.8%)。そのうち、合格者数58名(合格率90.6%)という結果でした。医療系人気上昇している中、9割を超える合格率であったことは、将来の仕事を見据えて第一希望合格を目指し続けた生徒たちの頑張りであったといえるでしょう。公務員希望は延べ15名が挑戦しました。昨年度は、最終合格まで行った生徒は1人もいませんでしたが、今年度は2名の合格者がでました。一般就職についても、佐世保ワシントンホテルや伊勢屋旅館など接客業を中心に、次のステージでの新たな挑戦が始まります。

生徒数は減りつつありますが、生徒の進路希望は多種多様な方向へ広がりを見せています。来年度も生徒全員の進路希望を達成できるよう尽力してまいりますので、どうか今年度同様、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1学年主任挨拶

1学年主任 吉田沙奈美

1学年のみなさんへ2つの事を伝えたいと思います。1つ目は『自分を褒めてほしい』ということです。高校に入学して約1年、中学校までと大きく違う生活に最初は戸惑ったかと思います。失敗や努力不足もあったかもしれませんが、ですが、この1年間でみなさんは確実に成長をしました。まずは自分自身を褒め、前向きに新2年生の準備をしましょう。2つ目は『自分の目標を再確認してほしい』ということです。入学した時に抱いていた夢や目標は何でしたか。残り2年間で具体的にどのように過ごしたら、目標とする自分に近づけるでしょうか。高校とは当然ながら「勉強する場所」であり、「自分を高める場所」です。これからもっと辛いことや苦しいことがあるかもしれませんが、それは全て自分の成長に繋がっています。自分に厳しく、努力を続けてほしいと思います。

保護者の皆様、この1年間、本校の教育活動へご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。残り2年間、更に学年団一丸となってお子様のサポートに尽力していきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2学年主任挨拶

2学年主任 菰田 清

入学当初、以下の2点についての『ご理解とご協力』をお願いしました。

① 自立した生活態度の育成 ② 当たり前のことが当たり前にできる人

具体的には「遅刻・欠席をしない」、「提出物の期限を守る」、「端正な身だしなみ」です。

保護者の皆様のご理解とご協力の甲斐あって、第68回生は「口加高生」らしくこの2年間で過ごすことができました。来年度はいよいよ最高学年となりますが、保護者の皆様にとっても、そして生徒自身にとっても進路決定において、悩み多き1年になるかと思います。学年団として、精一杯のサポート態勢を整えて、これまで以上に尽力して参ります。来年のこの季節、第68回生自身とかかわったすべての人たちが笑顔であることを心から祈ります。保護者の皆様には、来年度もご理解とご協力をお願いいたします。

☆今月の生活創造コース☆

6日（金）乳幼児親子交流学习（2年）

年間を通して実施してきた交流学习も今回が最後でした。ご協力いただいた方々、ありがとうございました！



7日（土）図書館お話し会ボランティア（2年）

☆「第5回全国こどものための愛情弁当コンテスト」に2年生創コース8名が応募し、**河添真子さんが銀賞、小島佳澄さんが銅賞**を受賞しました！

